

## 箱根駅伝 予選会4位、61回目の出場決める

1年次の座間が日本人トップ



▲「箱根」出場を決め、喜びの陸上競技部員と応援団たち(撮影・奥原佑城)



▲1年次生エース・座間の懸命な走り(撮影・橋本麻未)

第81回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会が10月16日、国営昭和記念公園で行われ、専大は10時間11分6秒(10人の合計タイム)の4位で通過し、2年ぶり61回目となる箱根駅伝出場の切符を手にした。59分52秒で個人4位、日本人トップの走りを見せた座間マボロベネディック(商1・藤沢翔陵高)。「わくわくしていた」とリラックスして臨んだ1年次生エースの力走が、チームに勢いをもたらした。

目標はシード権獲得。加藤覚監督は「監督1年目であり、思い切ったレースをしたい」と話す。

本番でも力強い専大の走りを見せてくれるだろう。

(宮山 友希・文1)

※次号でメンバー・コース・応援ポイントを掲載します。

## 男子 惜しくも準優勝 女子は3位に終わる

バスケット・関東大学リーグ戦



▲攻守にわたりチームを支えた長南(撮影・久我)



▲インサイドを支配した大宮宏正(撮影・松本)

男子 敢闘選手賞・波多野、優秀選手賞・中川

関東大学バスケットボールリーグ戦の全日程が終了し、専大は10勝4敗で準優勝となった。敢闘選手賞に波多野和也(経営4・静岡学園高)が、優秀選手賞に中川和之(経済4・豊浦高)が選ばれた。

日体大との最終戦(10月24日)は、中川(和)を中心とした本来のスピーディーなゲーム展開を披露。イン

サイドではパワーと高さで圧倒し、時にはアリウープを狙うといった魅せるプレーも忘れず、94-54で快勝。中原雄監督が「インカレに弾みをつける戦いが出来た」と話すように、満足のいく内容だった。今リーグは主力の相次ぐ離脱で苦しい戦いが続いた。その中でチームを支えたのが小野弘樹(経営4・能代工高)や伊藤孝志(商3・福岡大大濠高)らサブプレーヤーの活躍。一人ひとりが成長し、選手層に厚みを増した。3冠の夢は阻まれたが、第2シードでインカレに臨む。”学生チャンピオン”復権に期待したい。(松本 旬平・経済2)

女子 長南が優秀選手賞、リバウンド王獲得

関東女子学生バスケットボールリーグ戦は8勝6敗で3位。長南真由美(経営4・山形市立商高)が優秀選手賞とリバウンド王を獲得した。児玉茂監督は「ポイントゲッターの故障が響き、最後まで本来の戦い方が出来なかったが、その分控え選手の成長が見られたことは収穫」と語った。今年は昨年のような一体感が欠けていた。しかし、リーグ戦を通しチームの結束力は高まっており、インカレでのリベンジに向け、環境は整った。(久我 智也・文2)

---

## 鉄壁の守備 最終戦に期待

アメフト・関東大学リーグ戦



▲対関東学院戦。7番は今季好調の梅本(撮影・宮山友希)

関東大学アメリカンフットボールリーグ戦で、ただいま専大は4勝1敗(11月6日現在)。11月14日の東海大戦で勝利もしくは同点でクラッシュポウル出場が決まる。

10月23日は、アミノバイタルフィールドで関東学院大と対戦。前半、このところ絶好調の梅本祐輔(経営4・平安高)がパントリターンTDを決め先制。後半も三上理行(商3・川越東高)のギャンプルでロングゲインを獲得し、中田雅之(法1・平安高)が梅本へのパスを決めてTD。チャンスを生かして14-0とした。この後、自陣10ヤードまで攻め込まれるが、根本知(経済3・日大三高)がTDパスをカットするなど、鉄壁の守備で無失点に抑えた。

11月6日、夢の島競技場で行われた中大戦。前半は44ヤードに及ぶFGを鹿島弘道(経営4・浦和学院高)が成功させ、3-0とリード。後半、敵のオフェンスに中央を抜かれ、TDを許し、3-6と逆転される。巻き返しを図るがリズムに乗れず敗戦。リーグ戦無敗記録は16でストップした。

(中川 泉穂・文1)

---

## 1部復帰ならず 悲願は来季へ

東都大学野球 1、2部入れ替え戦



▲2回戦8回裏長谷川が2ランを放つ(撮影・日下石聡子)

11月6、7日、東都大学野球の1、2部入れ替え戦が行われ、専大は東洋大に連敗し、5季ぶりの1部復帰はならなかった。

リーグ戦を全勝優勝で飾った専大野球部。長谷高成泰監督はその原動力を「一人ひとりが毎日の成果を出したこと」と振り返る。万全の体制で臨んだ入れ替え戦だったが、春季に続き、1部の壁の前に再び夢破れる形となった。これまでチームを引っ張ってきた柿沼伸彦主将(経済4・宇都宮学園高)ら4年次生は今季で引退するが、1部昇格という先輩たちの悲願は後輩たちに引き継がれた。

(末永 恵・文2)

▽1回戦(11/6)

|     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東洋大 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 4 |
| 専修大 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

【東洋】山脇、愛甲、永井—田中大【専】西村、高山、田中—柿沼

▽2回戦(11/7)

|     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 専修大 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 東洋大 | 0 | 0 | 1 | 6 | 0 | 0 | 1 | X | 8 |

【専】阿部、高山、田中、品川、長谷川樹—柿沼【東洋】上野、永井、山脇—田中大

## 無差別級で中西が3位

相撲・全国学生個人体重別



▲無差別級で3位の中西

全国学生相撲個人体重別選手権が10月3日、大阪府堺市の大浜公園で行われ、中西健二主将(経営4・目黒学院高)が無差別級で3位と健闘した。

東日本学生相撲個人体重別選手権(9/4)無差別級優勝の中西と、135キロ未満級ベスト8の後藤健志

(経営1・目黒学院高)が出場。中西は準決勝で、年下を相手に苦汁をなめ、悔しさを隠せない。一瞬のスキが、明暗を分ける土俵上。これを糧に、さらなる飛躍を期待したい。  
(中川 泉穂・文1)

【ニュース専修2004年11月号16面】